

# Mizuho Daily Market Report

2024/8/1

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.90	149.98	▲2.79	▲3.91
EUR	1.0820	1.0826	+0.0011	▲0.0014
AUD	0.6505	0.6542	+0.0004	▲0.0039
SGD	1.3394	1.3360	▲0.0062	▲0.0074
CNY	7.2209	7.2267	▲0.0143	▲0.0368
MYR	4.6010	4.5905	▲0.0312	▲0.0815
THB	35.63	35.65	▲0.34	▲0.52
IDR	16260	16260	▲40	+45
PHP	58.38	58.37	▲0.28	▲0.07
INR	83.73	83.73	+0.00	+0.01
VND	25261	25264	▲20	▲92

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.030%	▲11.0 bp	▲25.4 bp
日本(10年)	1.056%	+5.2 bp	▲2.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.304%	▲3.6 bp	▲14.0 bp
オーストラリア(5年)	3.777%	▲21.2 bp	▲27.0 bp
シンガポール(5年)	2.804%	▲8.0 bp	▲20.7 bp
中国(5年)	1.865%	▲1.9 bp	▲3.0 bp
マレーシア(5年)	3.525%	▲1.9 bp	▲7.0 bp
タイ(5年)	2.341%	▲2.5 bp	▲4.3 bp
インドネシア(5年)	6.731%	▲2.0 bp	▲11.3 bp
フィリピン(5年)	6.029%	▲1.6 bp	▲10.6 bp
インド(5年)	6.848%	▲0.4 bp	▲6.0 bp
ベトナム(5年)	2.110%	+0.0 bp	+0.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOJ(米国)	40,842.79	+0.2%	+2.5%
N225(日本)	39,101.82	+1.5%	▲0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,872.94	+0.7%	+0.2%
ASX(オーストラリア)	4,588.31	+1.1%	+2.7%
FTSE(シンガポール)	3,456.94	+0.4%	▲0.1%
SSEC(中国)	2,938.75	+2.1%	+1.3%
SENSEX(インド)	81,741.34	+0.4%	+2.0%
JKSE(インドネシア)	7,255.76	+0.2%	▲0.1%
KLSE(マレーシア)	1,625.57	+0.8%	+0.3%
PSE(フィリピン)	6,619.09	+0.2%	▲2.0%
SETI(タイ)	1,320.86	+1.0%	+1.8%
VNIINDEX(ベトナム)	1,251.51	+0.5%	+1.1%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	278.12	+1.2%	▲0.6%
金	2,447.60	+1.5%	+2.1%
原油(WTI)	77.91	+4.3%	+0.4%
銅	9,102.28	+2.9%	+1.4%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.00	—	152.20
EUR/USD	1.0770	—	1.1050
AUD/USD	0.6505	—	0.6880
USD/SGD	1.3260	—	1.3530
USD/CNY	7.2060	—	7.2290
USD/INR	4.5400	—	4.7230
USD/THB	35.20	—	37.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.80	—	59.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	25,100	—	25,500

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel. 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は152円台後半でオープン。午前中は日銀の政策決定会合を控え様子合う展開。日銀の政策決定会合結果が公表されると、利上げを受けたことを受けて一時151円台半ばまで急落したものの、利上げ幅や国債買入れの減額規模が市場想定範囲内だったことから円が売られ直し153円台後半まで急騰するもすぐに値を戻す。その後は152円台後半で推移し海外へ渡った。アジア通貨は概ね上昇。FOMCを控えて全般的にドル売りの流れとなったことがアジア通貨のサポート材料となった。

海外市場のドル円は150円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米7月ADP雇用統計と米第2四半期雇用コスト指数が共に予想を下回り、149円台後半まで下落。その後はFOMCを控える中ポジション調整の動きから、151円台前半まで戻す神経質な値動き。NY午後はFOMCにおいて政策金利を5.25%-5.50%に据え置き、同時に発表された声明文では「経済の見通しは不確実で、委員会は2つの使命の両面に対するリスクを注視している」等との文言が示された。続いて行われたハウエル議長の記者会見では、利下げに向けていいデータが続けば、9月に利下げが検討される可能性がある」等とハ派の発言がやや多く見られ、市場はドル売りで反応し、一時149円台半ばまで値を下げる。その後は売り一巡となり小幅に水準を戻し149円台後半でクロス。

## 【金利】

昨日の米金利は低下。FOMCにおいて政策金利は据え置かれたもののハウエルFRB議長の発言を受け9月の利下げ観測が高まる結果に。米10年債利回りは前日比▲11.0bpでクロス。

## 【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日注目された日銀金融政策決定会合、FOMCを終え、日米金利差が縮小するとの見方が強まっていると考えられる。かかる状況下、ドル円については一段の下落に警戒したい。

## 【本日の予定】

- (アジア) 2Q 豪 小売売上高インフレ調整前
- (アジア) 2Q 豪 輸入物価指数 / 輸出物価指数
- (アジア) 6月 豪 貿易収支
- (アジア) 7月 PMI 製造業
- (アジア) 7月 インド PMI 製造業 (確)
- (アジア) 7月 インドネシア CPI
- (アジア) 7月 中国 製造業PMI
- (アジア) 7月 豪 PMI 製造業 (確)
- (欧州) 6月 ユーロ圏 失業率
- (欧州) 7月 ユーロ圏 製造業PMI (確)
- (欧州) 英 金融政策会合
- (米国) 2Q 非農業部門労働生産性(速) / 単位人件費(速)
- (米国) 6月 建設支出
- (米国) 7月 ISM製造業景況指数
- (米国) 7月 チャレンジャー人員削減数
- (米国) 7月 ワズ自動車販売台数合計
- (米国) 7月 製造業PMI (確)
- (米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。